

芥川賞作家 **多和田葉子氏**



1991年(31歳)『**かかとを失くして**』で**群像新人文学賞**、1993年(32歳)『**犬婿入り**』で**芥川賞**を受賞した**多和田葉子氏**は高校30期の卒業生。

立高在学中、**吹奏楽部**ではクラリネットを吹き、**文芸部**では同人誌に作品を発表するなどの創作活動に励み、また第二外国語は**ドイツ語**、自由選択授業は**油絵**を受講するという多才ぶりを発揮。**高3の夏**には小説を**自費出版**し、近隣の書店に置いてもらうというエピソードもある。

早稲田大学第一文学部では**ロシア文学**を専攻。卒業後は**単身ドイツ**に渡り、出版社勤務や大学での言語研究をしつつ詩や小説を書き続けた。

ドイツ語、**日本語**両方の言語でそれぞれ違う作品を発表するという独特のスタイルで世界中に**TAWADA WORLD**を展開している。

また、**芥川賞受賞作品の装画・装幀**を担当した**永畑風人氏**も同期のOBである。



＝主な受賞歴＝

群像新人文学賞(1991年)
芥川龍之介賞(1993年)
シャミッソー文学賞(1996年)
泉鏡花文学賞(2000年)
ドゥマゴ文学賞(2002年)
伊藤整文学賞(2003年)
谷崎潤一郎賞(2003年)

ゲーテ・メダル(2005年)
早稲田大学坪内逍遙大賞(2009年)
紫式部文学賞(2011年)
野間文芸賞(2011年)
読売文学賞(2013年)
芸術選奨文部科学大臣賞(2013年)